

SDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金 第2期の対象事業を決定しました！

SDGsの達成に資するモデル事業を創出し、市内のSDGsの取組を普及・促進する「SDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金」について、9件の応募をいただき、審査の結果、次のとおり第2期の対象事業を決定しました。

申請事業者	事業名、事業概要	交付限度額
1 NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック連絡会	かわさき SDGs まちゼミ SDGs 活動に力を入れている企業・団体と連携し、各企業等が蓄積している SDGs コンテンツを各事業所等でクイズやワークショップ形式で地域住民に提供する「SDGs まちゼミ」を企画・開催する。	267,528 円
2 認定 NPO 法人キッズアートプロジェクト	治療中の子どもたちへ「美ら海水族館・特別遠隔授業」実現プロジェクト 海洋生物について学ぶ水族館の遠隔授業を活用した特別授業を市内病院小児病棟等で実施し、治療中の子どもたちに質の高い教育を提供することで、子どもたちの心の安定につなげ、安心して継続的な治療を受けられる環境を構築する。	305,000 円
3 ロジウィルグローバルサプライ株式会社	スマートエコロジスティクス 手話によるライブコマースを活用し、賞味期限の近い食品や値くずれ防止のためにやむを得ず廃棄となる滞留在庫品を EC で安価に販売することで、フードロスの削減や聴覚障害者の就労機会提供に貢献する。	500,000 円
4 LOOVIC 株式会社	自らの声をシェアする街歩きコンシェルジュ シニア向けの自立歩行支援として、音声 AR ナビガイドを活用したウォーキング実証を市内で実施し、外出して歩き続けるモチベーションにつなげることで、地域住民の健康寿命延伸に寄与する。	315,000 円
5 特定非営利活動法人エミフル	地域クリーン活動 障害者就労支援事業所の活動の一環として、施設に通う障害者による地域の清掃や美化活動、道路公園センターと連携した花植えなどの「地域クリーン活動」を拡充し、地域における課題解決と障害者の就労機会提供に貢献する。	126,342 円

※順序は申請順。

【問合せ先】
川崎市総務企画局都市政策部
SDGs・国際連携推進担当 野本
電話 044-200-3669

SDGs 達成に向けたモデル事業創出支援補助金（第2期） 概要

1 補助の対象者

川崎市SDGs登録・認証制度における「かわさきSDGsパートナー」及び「かわさきSDGsゴールドパートナー」

2 補助の対象事業

交付決定後、その年度内に完了する事業で以下の要件を全て満たす事業

- ① パートナーが主体となって、他の事業者・団体等と連携し行う持続可能な取組
- ② 事業実施により達成を目指すSDGsのゴールが明確で、新たに実施する取組又は既存の事業を改善・拡充する取組
- ③ 他の事業者の模範となる取組
- ④ 市内に取組の効果が還元される取組

3 補助の概要

1件あたり 補助率1/2以下かつ補助限度額50万円

4 スケジュール

申請期間 : 令和5年9月12日(火) から10月31日(火) 17時まで

交付決定 : 令和5年12月12日(火)

補助対象期間: 令和5年12月12日(火) から令和6年3月15日(金) まで

5 交付要綱、申請書等

交付要綱等は以下のURLを御参照ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000154138.html>



令和4年度（試行実施）の補助金活用事例

- ◇ 「廃棄予定の資源の循環・活用」のエコ活動および「地域クリーン活動」(特定非営利活動法人人工ミフル)
近隣のビール工場から廃棄される麦芽を障害者就労施設にて粉にして食品を製作 等
- ◇ かわさきカンキツオイルプロジェクト (株式会社ノンバーバル)
川崎市内産の柑橘類(規格外品)を中心とした精油の製造とスプレアの開発 等

[令和4年度実績の詳細はこちら](#)

